

科目番号	33	科目名	心理学概論A	
英文科目名				
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5201
担当教員	李 艶 (人間学部教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 (対面・遠隔併用)			
教室名	306教室	会場	聖泉大学	
授業期間	2023年4月7日(金)～2023年7月21日(金) <毎週金曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法	所類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		80	%
	平常点(出席・授業態度)		20	%
	その他()			%
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
この授業は心理学の基礎中の基礎科目である。心理学の基礎としてほぼ全体をカバーできる。主に認知心理学と社会心理学に関する基礎理論・基礎概念を説明する。授業は講義形式で行う。具体的には「見る:視覚」「聞く:聴覚」「感じる:味覚嗅覚触覚」「覚える:記憶」「思う:感情」「学ぶ:学習」「考える:思考」「決める:原因帰属」「頑張る:動機」「気にする:自己」「伝える:説得」「魅かれる:対人認知」「付き合う:集団行動」「助ける:援助行動」「意思決定」の心理学を概説する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月7日	授業の計画、成績評価、授業の進め方、受験生への要望、教科書と参考書などの説明。 シラバスを読んでおくこと、視覚・聴覚の内容を予習する(3時間)		
2	4月14日	見る:視覚 聞く:聴覚 視覚と聴覚の基礎について説明する。色を認識するメカニズム、音にとられる人間の行動を学ぶ。復習と「感じる」ことの内容を予習する(3時間)		
3	4月21日	感じる:味覚・嗅覚・触覚 味覚・嗅覚・触覚について学習する。復習と記憶の内容を予習する(3時間)		
4	4月28日	覚える:記憶 記憶の意義、分類、忘却、記憶のメカニズムを学習する。第一回から三回までの復習と「感情」の予習(6時間)		
5	5月12日	思う:感情 感情の重要性、感情の側面、感情生起のメカニズム、人間らしい高度で複雑な感情を学習する。復習と学習の内容を予習する(3時間)		
6	5月19日	学ぶ:学習 古典的条件づけ、味覚嫌悪条件づけ、オペラント条件づけ、強化スケジュール、学習性無力感、弁別と般化について学習する。復習と思考の内容を予習する(3時間)		
7	5月26日	考える:思考 洞察、帰納的推論、演繹的推論、ルーチャンスの水がめ問題について学習する。第4回から第6回までの復習と原因帰着の内容を予習する(6時間)		
8	6月2日	決める:原因帰着 原因帰着の概念、原因帰着理論について学習する。復習と達成動機の内容を予習する(3時間)		

9	6月9日	頑張る:達成動機 どんな時に頑張れる、やればできると思うとき、内から湧き出すやる気、達成感を味わえる時、もうこれ以上頑張れないと思うとき、頑張るためにはどうしたらいいか、について解説する。 復習と自己の内容を予習する(3時間)
10	6月16日	気にする:自己 自己、自己開示、自己呈示、自己の喪失、社会・文化の中の自己、自己理解の不正確さ、について説明する。 第7回から第9回までの復習と説得の内容を予習する(6時間)
11	6月23日	伝える:説得 説得の概念、説得の効果を左右する要因、説得の「武器」、説得の技法、説得への抵抗を説明する。 復習と対人認識・対人魅力の内容を予習する(3時間)
12	6月30日	魅かれる:対人認識・対人魅力 対人認識・対人魅力について学習する。 復習とソーシャルスキル、集団行動の内容を予習する(3時間)
13	7月7日	付き合う:ソーシャルスキル、集団行動 ソーシャルスキルの概念、構成について学習し、繋がるためにはどうしたらいいか考える。同調行動、リーダーシップについて学習する。 第10回から第12回までの復習と援助行動の内容を予習する(6時間)
14	7月14日	助ける:援助行動 援助行動とは何か、援助行動の影響要因と個人要因について学習する。ソーシャル・サポートの意義、ソーシャル・サポートのネットワーク作りについて検討する。総復習(6時間)
15	7月21日	意思決定 意思決定の心理学について学習する。授業の総括 期末考査の準備及び総復習(6時間)
<教科書・参考書>		
【心理学概論 ヒューマン・サイエンスへの招待】松田幸弘編著 ナカニシヤ出版 (教科書は必須です)		